

事務事業名	総合行政ネットワーク運用事業				担当	総務部 情報システム課 行政情報係
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号	0285-83-8497
施策名	1	窓口サービスの向上と事務効率化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成15年度~)
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)
事業概要	総合行政ネットワーク(略称:LGWAN(Local Government Wide Area Network))は、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークであり、すべての都道府県及び市区町村のほか、一部事務組合及び広域連合の参加もあり、本格運用が行われている。また、LGWANは、国の府省間ネットワークである「霞が関WAN」と相互接続しており、国の機関との情報交換にも利用されている。本市においては、県内自治体一斉導入の含意に基づき整備を行い、平成15年7月末に接続試験を実施、同11月からLGWANメールの利用を開始した。その後、平成16年1月29日から公的個人認証サービスを開始、平成17年1月18日から真岡市組織認証局を立ち上げた。 基本サービス LGWANでは、電子メール、電子掲示板などの基本的サービスのほか、地方公共団体が発信する電子文書等について、秘密を保持し、認証を行い、改ざんや否認を防止するための地方公共団体組織認証基盤(LGPKI)のシステムを運営するとともに、アプリケーション・サービス・プロバイダ(ASP)による様々な行政用アプリケーションサービスが提供されている。(参加団体情報共有管理サービス、地方公共団体アドレス帳サービス、証明書発行等申請管理システムなど)					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 1.LGWANサービス提供装置、2.回線接続装置(ONU)、3.ネットワーク接続スイッチ、4.LGWANメールサーバ等の稼働状況を監視し、安定した運用に努めた。 税務課では、地方税の電子申告(法人市民税、償却資産、個人市民税)を利用中である。 平成23年度は、本庁と支所の公的個人認証に係る証明書発行機器の更新を行った。 24年度計画 前年度同様の運用を実施。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移							
	名称							
	ア	監視の対象となる機器数	台	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	イ	職員証明書用ログイン(IC)カードの数	枚	1	1	1	1	1
	ウ	公文書交換システムを利用した件数	件	1	0	0	0	0
エ								
オ								
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 総合行政ネットワークシステム	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移							
	名称							
	ア	LGWAN基本サービスシステムの数	本	4	4	4	4	4
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) システムを安定稼働させ、事務の効率化と住民サービスの向上を図る。	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移							
	名称							
	ア	障害によりサービスが停止した回数	回	1	0	0	0	0
	イ	公的個人認証を使用した(県・市)行政手続きの数(年度末現在数)	本	26	30	6	6	6
	ウ							
エ								
オ								
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 行政事務の効率化が進展するとともに、電子申請サービス等の充実により、住民の利便性が増す。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移							
	名称							
	ア	公的個人認証取得件数(当該年度取得者数)	件	153	152	106	76	100
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,434	2,028	2,058	2,526	0
	事業費計(A)	千円	4,434	2,028	2,058	2,526	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50	0
		人件費計(B)	千円	209	203	213	212	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,643	2,231	2,271	2,738	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	国の整備要請を受け、栃木県市町村情報推進協議会で検討を重ね「一斉に接続する」との合意により、平成15年度に県内全自治体で整備を行った。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成24年3月31日現在、すべての都道府県及び市区町村のほか、一部事務組合及び広域連合の参加もあり、本格運用が行われている。(平成24年3月31日現在、1,809団体、都道府県 47団体、市区町村 1,742団体、一部事務組合 20団体) 現在は、国や各自治体間の電子メール、国の省庁等のホームページ閲覧に使われている。また、公的個人認証・公共団体の組織認証基盤としての運用が開始されている。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	真岡市においても、ICカード(住基カード)を利用した電子申請・届出等のシステムを導入してはどうか(議員)

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 行政事務の効率化、住民サービスの向上を目的とした、電子自治体構築のための事業である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある L GWANの機能を活用し、行政事務の効率化、住民サービスの向上を図るためには、全自治体の参加が必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある L GWANを適切な管理によって安定稼働させ、事務の効率化と住民サービスの向上を図る。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 本ネットワークは平成15年度に導入したものであり、当初予定システムの一部が稼働している状態である 今後、これらの本格稼働は、全ての公共団体の整備を待たなければならないが、本市としては、現状において最善の利用を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止により、参加団体が欠けると、当ネットワークの本格的な利用に支障が生ずる。また、電子自治体の構築が困難となり、他自治体との間で、市民サービスの内容に格差が生じる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現在はL GWANの運用条件を満たす最少のシステム構成となっている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある L GWANの運用・管理のために必要最小限の人員配置である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							